

2022年度 第54期 事業報告

(2022年1月1日 ~ 2022年12月31日)

1. 会員の状況

会員数 2022年12月31日現在
第1種正会員 32名
第2種正会員 58社
合計 90

2. 役員等の状況

①役員の変動

小野寺修氏が会長を柴田幸美氏が副会長を退任。

池田秀和氏が会長に早坂弘氏が副会長兼専務理事に藤原正光氏が常務理事に就任。

大澤敦氏が理事に就任。

②役員数

会長1名 副会長兼専務理事1名 常務理事1名 理事8名 監事2名 計13名

3. 会議

①総会

第54期定時総会	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	2022.02.25
第1号議案	第53期事業年度事業報告及び決算について	
第2号議案	第54期役員報酬限度額について	
第3号議案	役員の変遷について	

報告事項 1) 第54期事業年度事業計画及び予算について
2) 公益目的支出計画実施報告書の提出について

②理事会

第1回	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	2022.02.02
第1号議案	第53期事業年度事業報告及び決算について	
第2号議案	公益目的支出計画実施報告書について	
第3号議案	第54期事業年度事業計画(案)及び予算(案)について	
第4号議案	役員報酬限度額について	
第5号議案	借入金限度額について	
第6号議案	役員の変遷について	
第7号議案	新規入会会員の承認について	
第8号議案	定時総会の開催について	
報告事項	業務執行状況の報告	

臨時	ホテルメトロポリタン盛岡 本館	2022.02.25
----	-----------------	------------

第1号議案	役員報酬の選任について	
第2回	ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウィング	2022.07.22
第1号議案	役員の変遷慰労金について	
報告事項	(1) 第54期事業年度(上半期)における事業の経過について	
その他	(1) 東北・北海道計量大会について	

③監査会

一般社団法人計量計測技術センター 事務所

2022.01.26

2021年度第53期事業収支決算の監査及び業務監査

4. 事業

(1) 計量及び計測管理に関する知識の普及及び情報提供に関する事業

①計量記念日事業

- 1) けいりょう標語の募集 2022.07.08
第40回「けいりょう」強調月間の標語募集として、一層の計量に関する知識の普及啓発を図るため、消費生活の向上並びに製造・流通上の品質管理の推進と、地球環境保護にかかわる環境保全対策に関する標語を広く県民から募集した。その結果377作品の応募があり、審査会において岩手県知事賞を含む7点の入選作品と4点の佳作を選出して表彰した。また、入選作品を7種類の標語ステッカーとして作成し、県内約200事業所に配布した。
- 2) 「計量記念日ポスター」、「計量のひろば」の配布 2022.10.25
計量記念日全国統一ポスター及び冊子「計量のひろば」（日本計量振興協会作成）を県内約200事業所に配布し、計量に関する知識の普及啓発を推進した。
- 3) 新聞広告の掲載 2022.11.01
11月1日の計量記念日に合わせて岩手日報朝刊に広告を掲載し、広く県民に計量の意義、計量制度の重要性を普及啓発した。

②講習会、セミナーの開催

- 1) 主任計量者講習の開催（計量証明事業） （受講者 37名） 2022.03.09、03.10
計量証明事業を行う事業所における有資格者（主任計量者）の確保と養成を図るための講習会を新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、2日間で開催した。
- 2) 計測管理セミナーの開催 （受講者 24名） 2022.11.21
「測定の不確かさ」の評価方法について実習も含めて研修し、各事業所の計測管理技術及び品質保証の向上等を目的としたセミナーを開催した。（第24回計測管理セミナー）
講習内容「易しい不確かさ入門」
共催 地方独立行政法人岩手県工業技術センター
会場 岩手県工業技術センター
- 3) 中小企業向け測定基礎研修会の開催（第12回） （受講者 23名） 2022.12.07
主に県内の中小企業を対象に、測定の基礎知識・技術を習得する為の研修会を開催した。
後援 地方独立行政法人岩手県工業技術センター
会場 岩手県工業技術センター

③会報「けいりょういわて」の発行

年2回 会員、計量行政機関、関係事業所に300部配布した。

No. 68号

2022.08.01

No. 69号

2022.12.16

④ホームページによる情報提供の充実

計量に関する正しい知識及び技術等の普及及び当センターの事業内容の広報のため、最新情報に基づく情報提供の充実に努めた。 URL <https://www.kryo.jp/>

(2) 計量法に基づく特定計量器の定期検査、検定作業等に関する受託事業

①行政機関からの受託業務に係る適正な業務システムの運用と円滑な業務の実施

1) 特定計量器の検定作業等受託業務

2022年1月1日～2022年12月31日

業務内容	個数	対前年比 (%)	2021	2020	2019
質量計検定	1,069	115.4	926	997	848
燃料油メーター等検定	990	84.0	1,178	984	1,036
血圧計検定	11	73.3	15	15	11
タクシメーター装置検査	2,061	96.6	2,133	2,251	2,337
基準器検査	241	119.3	202	290	192
合計	4,372	98.2	4,454	4,537	4,424

※対前年比：2021年実績（1/1～12/31）との個数の比

2) 指定期検出機関としての特定計量器の定期検査

岩手県対象地域 県南地区（延べ46日）

盛岡市対象地域 南部地区（延べ16日）

地域	事業所数	個数	対2020年比 (%)
岩手県 県南地区	1,248	2,478	101.6(92.1)
盛岡市 南部地区	393	766	100.7(99.5)
合計	1,641	3,274	102.3(93.8)

※対2020年比：対象地域が同じ2020年実績との個数の比(事業所数の比)

②特定計量器の定期検査に係る事前調査

盛岡市北部地区を対象に調査を実施（調査対象件数約601件）

(3) 計量関連機関との連繋及び交流に関する事業

- ①東北六県・北海道計量協会、事務局長会議（Web会議） 2022.03.02、2022.03.09
- ②一般社団法人日本計量振興協会の定時総会へ出席 2022.05.26
- ③東北・北海道計量大会への参加（福島県）
東北六県北海道計量協会会長・同計量士会長合同会議
東北・北海道計量大会及び第69次東北六県北海道計量協会連合会総会 2022.10.06
- ④第42回目東北・北海道計量士協議会を盛岡市で開催した。 2022.12.08

(4) 計量士による代検査及び管理検査に関する事業

- ①定期検査対象地域における計量士による代検査業務の実施
- ②計量自主管理事業所に対する管理検査業務の実施
計量器検査及び量目検査、管理指導等の業務
- ③土木関係事業所における計量計測機器類の検査・校正業務の実施
配合用計量器の検査及び試験用計量計測機器類の検査・校正の業務
- ④適正計量管理事業所における計量管理業務の実施
計量器検査及び量目検査、管理指導等の業務

- ⑤県内の郵便局等を対象に日本郵政グループ計量管理受託業務の実施
 一般社団法人日本計量振興協会との協定による検査管理指導業務を実施
- ⑥令和3年度農協関係における計量管理に係る協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、資料の配付のみとした。
- ⑦第46回 J I S ・品質管理講習会を盛岡市で開催した。 2022.06.29
- ⑧代検査及び管理検査等の実績

2022年1月1日～2022年12月31日

業務内容		事業所数	個数	対前年比(%)
計量士による 代検査	岩手県・盛岡市	815	3,725	97.6(99.5)
	県外	340	992	95.1(92.9)
日本郵政関係		220	474	105.8(99.5)
計量管理検査		576	5,865	96.9(97.5)
土木関係事業所における検査・校正		169	452	101.6(97.7)
適正計量管理事業所の管理検査		11	406	98.5(100.0)
合計		2,131	11,914	-

※対前年比：代検査、日本郵政は2020年実績(1/1～12/31)との個数の比(事業所数の比)

他は2021年実績(1/1～12/31)との個数の比(事業所数の比)

(5) 計量機器及び計測機器の試験及び校正に関する事業

- ① JCSS 登録事業者（国際 MRA 対応認定事業者）として適正な校正事業を実施

1) 認定機関による認定維持審査はなかった。

2) 技能試験

○質量区分（分銅）の JCSS 技能試験への参加はなかった。（2024 年度を予定）

○質量区分（はかり）の JCSS 技能試験への参加はなかった。（2024 年度を予定）

○長さ区分（ブロックゲージ）の JCSS 技能試験は、2021 年実施され、合格の結果報告があった。 2022.01.07

○力区分（一軸試験機）の JCSS 技能試験に参加し、結果は合格であった。 2022.06.21

- ②登録範囲以外の計量計測機器類の試験及び校正業務の実施

計量のトレーサビリティを確保した常用参照標準及び校正用機器類を整備し、適正なマネジメントシステムにより校正業務を実施した。

- ③校正実績

2022年1月1日～2022年12月31日

分類	種類	事業所数	新規	個数	対前年比(%)
JCSS 校正	ブロックゲージ	58	5	1,168	84.6(81.7)
	一軸試験機	99	0	99	95.2(95.2)
	分銅	184	21	1,547	120.2(134.3)
	はかり	48	10	170	106.9(109.1)
	小計	389	36	2,984	101.8(109.3)
一般校正	温度計、圧力計、 長さ計、力計、 トルク機器等	461	75	1,451	100.8(97.1)
	合計	850	111	4,435	101.5(102.3)

※事業所数：延べ事業所数 ※対前年比：2021年実績(1/1～12/31)との個数の比(事業所数の比)

④関連する計量標準の協議会、連絡会議への参画

1) 認定事業者向け説明会が Web 会議で開催された。

2022.03.03

(6) 計量法に基づく指定検定機関に関する事業

①指定検定機関申請の可否について、各計量団体と情報交換を行っている。

(7) その他当センターの目的を達成するために必要な事業

①地方計量行政機関の業務に対する協力

1) 岩手県計量センター（岩手県商工労働観光部商工企画室）主催の 2022 年度市町村計量事務担当者会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、資料のみの配付とした。

②計量士の養成及び資質向上と職員の計測技術の向上

1) 公益社団法人ボイラークレーン協会主催のフォークリフト運転技能講習を受講した。

2022.01.25 ～ 01.28

2) JCSS 登録区分毎に内部で行う技能評価試験を実施し、校正の技術的能力の確認を行った。

ブロックゲージ 2022.02.02 ～ 02.14

一軸試験機 2022.11.07 ～ 11.30

分銅 2022.02.16 ～ 02.28

はかり 2022.09.07 ～ 09.29

3) 定期的に社内研修を開催し、品質目標の周知等を行うとともに、外部研修による知識や情報の共有化を図った。

2022.01.31、08.12、09.29、12.23

4) 岩手県立産業技術短期大学校主催の能力開発セミナー新人社員研修を受講した。

P.1 参照 2022.04.07

～ 04.08

5) 職員の小野寺翔夢君が計量研修センター（一般計量教習）を修了した。

2022.09.05 ～ 12.02

③一般社団法人日本計量振興協会が行う事業への協力

1) 全国計量士大会へ参加した。

2022.03.04

2) 計量士部会委員の委嘱を受けるとともに、部会に出席した。

2022.02.08、07.25、09.13、10.24

3) 自動はかりの計量管理推進委員会委員の委嘱を受けるとともに、委員会にオンラインで出席した。

2022.03.28

4) 中小企業向け測定基礎研修運営委員会にオンラインで出席した。

2022.04.25